

## ～進路面談を終えて、志望校を決める～

入試には準備（受験勉強）が必要なので、志望校決定は早いに越したことはありません。しかし、入学後3年間の学校生活を考えれば、慎重さも求められます。今回の進路面談で、自分の志望校が見えてきましたか。まだ、どの学校が自分に合っているかわからない場合は、可能な限り学校説明会や見学会に参加しましょう。面談でも担任から話があったと思いますが、今現在の成績で進路面談を行いましたので、12月の成績の結果次第で、志望校が変わることも考えられます。

12月の面談では私立志望校を決定し、いよいよ受験に向かっていくこととなります。それまでに、みなさんは、成績が伸びた場合の志望校・現状維持の場合の志望校・成績が振るわなかった場合の志望校と、3パターン程度考えておくとよいでしょう。

みなさん自身が入学して3年間続けられる高校を見つけるのはもちろん、特に学習面は慎重に検討しましょう。学習レベルが高い学校＝授業の内容が難しい、入学した後で授業についていけないケースもあります。無理して入るのではなく、自分の学力等にあった高校選びをすることも大切なのです。そのために、11月中にもう一度志望校の学校情報を確認し、後悔のない受験ができるように準備をしましょう。



## ～精神力を維持し続けよう～

11月、12月、1月、2月と受験生としては一番大変な時期をむかえます。その時に心がけてほしいのは普段の生活リズムを崩さないことです。人間は焦ったり追い込まれたりすると、良い結果に結びつくことはありません。普段通りの生活に少しの緊張感があることで、大事な時にはしっかりしないといけないスイッチが入るのだと思います。ずっと気を張り詰めている状態が続くと、体調不良になったり精神的不安が増すようになります。ぜひ、心と体には注意をしてこの4か月を乗り切ってほしいと思います。



## ～受験関係書類について～

志望校によっては、特別な書類として志望理由やテーマにあった作文などを、出願時に提出する学校があります。本格的に受験に向けて動き始める11月となりました。

私立高校の願書などは中学校で用意することはありません。私立の受験に関する書類は、みなさんが志望校に説明会や見学会に行ったところで渡されることが多いです。そこで、まだ願書などの書類が手元に無い場合は、受験校に行くなどして、出願時に必要な書類を用意しておきましょう。

12月の面談時に、志願する私立高校（主に東京の私立）独自の様式による調査書を担任に作成依頼することがあります。その場合、年内に依頼するようにお願いします。調査書は簡単に作成できるものではありません。急に「書いてください」と依頼されても、進路業務は学校全体で行うためすぐに完成することはできません。期限を守るようにしましょう。



